

技術の特徴

以下組成の動的架橋型の熱可塑性エラストマー

(A) アクリルゴム

(B) ポリ乳酸

(C) 架橋剤（以下から選択）

ジメチルジチオカルバミン酸亜鉛、ジメチルジチオカルバミン酸第二鉄
N-フェニル-N-(トリクロロメチル-スルフェニル)ベンゼンスルホンアミド

(A) アクリルゴム / (B) ポリ乳酸の重量混合比が55/45~95/5

効果

- ポリ乳酸は、トウモロコシ（原材料）からなるバイオマス材料であるため、この材料を用いた製品は、環境対応型の製品になる
- アクリルゴムが動的架橋により固まりとなり、その周りをポリ乳酸が溶解して取りまき、架橋したアクリルゴムが島相として分散
- それにより、ゴム比率を高くし、エラストマー性に優れる材料を実現

適用可能性のある製品 バイオマス材料を用いた環境対応型製品